

女性農業者交流会で農福連携を身近なものに

女性の活躍推進や交流を目的に開催している女性農業者交流会において、農福連携の理解を深めてもらう取組。

○ 施策分類

女性、農福連携、地産地消

○ きっかけ・背景、課題の把握

令和5年度に開催した女性農業者交流会で行ったアンケートの課題に「労働力不足」があったため、解決の一助として「農福連携」をテーマに設定。

○ 取組の内容

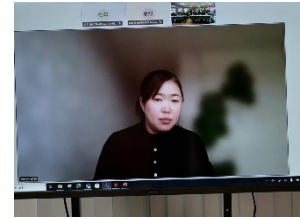
- ・ 交流会に参加する女性は、農業者だけでなく、農業・福祉関連に携わっている女性まで幅広く参加を呼び掛けた。
- ・ 開催に当たって、県、市及び関連団体の農業部門、福祉部門などに協力を得た。また、社会福祉法人等の要望も取り入れた。
- ・ 交流会においては、福祉側と農業者側のそれぞれの講師から農福連携の優良事例等を紹介。その後、参加者によるグループディスカッションを実施し、取組む際の課題等について、講師と活発な意見交換を行った。また、社会福祉法人が運営するレストランで働く障害者と交流を深めてもらうため、ランチミーティングを実施。ランチは、地元食材のスペシャルメニューを提供。

○ 効果・成果、今後の方向性

参加者から、「それぞれの立場がわかった」や「もう少し勉強したい」など全員から前向きな感想が寄せられた。県拠点は、女性農業者の声をもとにテーマ設定を行い、今後も交流会を継続していく。



福祉側：大村ノウフクネット
ワーク相川講師（長崎県）



農業者側：笠間農園笠間講師
（石川県・オンライン）



グループディスカッション



県・市職員等も参加



当日の参加者



障害者が働くレストラン
でランチミーティング

アンケート結果 19人回答（複数回答可）

福祉、農業者それぞれの立場がわかった	15人
もう少し勉強したい	12人
相談窓口がわかってよかった、ほか	6人